

**製品名: BTR1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07692**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SLC4A11
別名	SLC4A11; BTR1; Sodium bicarbonate transporter-like protein 11; Bicarbonate transporter-related protein 1; Sodium borate cotransporter 1; NaBC1; Solute carrier family 4 member 11
遺伝子 ID	83959.0
SwissProt ID	Q8NBS3
免疫原	抗血清はヒト SLC4A11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

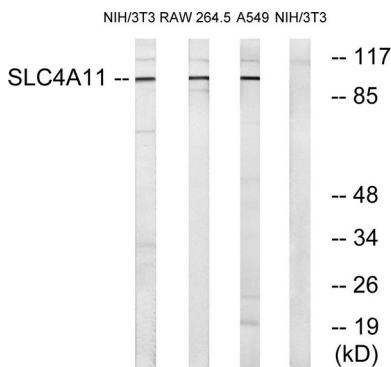
**背景**

この遺伝子は、ホウ酸恒常性、細胞成長、および増殖に不可欠な、電圧制御性の起電性ナトリウム共役型ホウ酸共輸送体をコードし

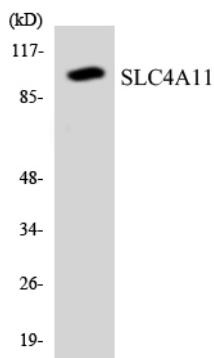
ています。この遺伝子の変異は、劣性角膜内皮ジストロフィー2、角膜ジストロフィーおよび感音性難聴、フックス角膜内皮ジストロフィーなど、多くの角膜内皮ジストロフィーと関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年3月]、疾患：SLC4A11の欠陥は、角膜ジストロフィーおよび感音性難聴（CDPD）[MIM:217400]の原因です。これは、角膜ジストロフィーおよび感音性難聴、またはハルボヤン症候群としても知られています。CDPDは、先天性角膜内皮ジストロフィーと進行性感音難聴から成ります。遺伝形式は常染色体劣性です。疾患：SLC4A11遺伝子の欠損が、角膜内皮ジストロフィー2型（CHED2）[MIM:217700]の原因です。これは先天性遺伝性角膜内皮ジストロフィーとしても知られています。この両側性角膜ジストロフィーは、角膜混濁と眼振を特徴とします。遺伝形式は常染色体劣性です。機能：ホウ酸の恒常性維持に関与するトランスポーターです。ホウ酸が存在しない状態では、Na(+ )およびOH(-)(H(+))チャンネルとして機能します。ホウ酸存在下では、起電性Na(+ )共役型ホウ酸共輸送体として機能する。PTM：グリコシル化されている。類似性：陰イオン交換体（TC 2.A.31）ファミリーに属する。組織特異性：広く発現している。腎臓、精巣、唾液腺、甲状腺、気管、角膜内皮で高い発現を示す。網膜およびリンパ球では検出されない。

## 研究分野

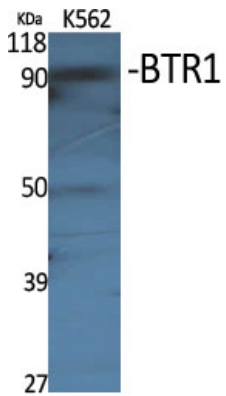
## 画像データ



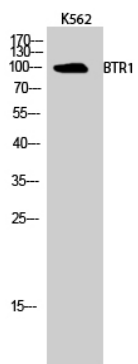
SLC4A11抗体を用いた NIH/3T3、RAW264.7、A549細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SLC4A11抗体を使用した HT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



BTR1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



BTR1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析